

# コミュニティの自律から継続活動ための応援

(この10年<に>至るまでの北海道におけるITコミュニティ活動の変遷)

有限会社サンビットシステム  
佐々木伸幸

(一般社団法人LOCAL・北海道\*BSDユーザーズグループ(NoBUG))

2018/12/07



## 簡単に自己紹介

- 有限会社サンビットシステム取締役社長
  - 一般社団法人LOCAL設立時理事
  - その他後で出てくるコミュニティの周辺
- 1964年生まれ
- 1988年から10年会社員。1998年から現職

# この10年<に至るまで

- 今回のテーマは「この10年」ですが...
- 次演者の三谷さんから「LOCAL以前をやって」と言われて...
- LOCALは既に10年目なので。

# 古い背景：北海道地域ネットワーク協議会

- 1993(?)年設立。通称NORTH。
  - 北海道でインターネット常時接続環境を構築し、インターネット接続の必要性と知識を啓蒙する
  - 札幌医科大学、北海道大学が中心。札幌市エレクトロニクスセンタ・テクノパーク立地企業を含めたインターネット接続環境を北海道で最初に構築。

〇〇会と揶揄されるがまだ現役世代。

# NCF : Network Community Forum

- 1996年発足。北海道大学・山本強座長
    - 電子化されたコミュニケーションが可能にする新しい活動単位の創造
    - 電子コミュニケーションリテラシの向上
    - 業種・地域を超える新しい活動単位の創造
    - 事業化プロセスの学習など新しい事業化へも意欲的
- インターネットを普通の人に広げた世代。

# NCF : Network Community Forum

- NCFが残したものの
  - 立場を超えた地域人脈の形成
  - 電子コミュニケーションの啓蒙
  - ベンチャーキャピタルとベンチャーの育成など
  - 「サッポロバレー」という言葉の誕生

ITに限らず地域産業に大きな影響







# IT系コミュニティの成立

- 札幌インターネットユーズーズグループ 1994年 7月
- 北海道Linuxユーズーズクラブ (DoLUC) 1999年 4月
- 北海道\*BSDユーズーズグループ (NoBUG) 2001年 2月
- 日本PostgreSQLユーズーズ会北海道支部 2001年 6月
- 北海道オープンソース&セキュリティ (HOSS) 2004年 3月

その他にもいっぱいありましたが。

# 技術的背景

- 1985年電電公社がNTTに移行
  - 一般の人が端末を自由に接続できる環境
  - 1987:第二電電/日本テレコム/日本高速通信など
- 1990年頃、パソコン通信加入者20万人超え
- 1993年頃、フリーなUNIX系OSが認知  
(1993:FreeBSD-1.0 1994:NetBSD-1.0)
- 1993年IIJが商用インターネットサービス開始

# 技術的背景

- 1995年4月 東京インターネットサービス開始
- 1995年6月 「Yohho」 豊橋技科大の学生提供
- 1995年11月 Windows95配布開始
- 1996年4月 「Yahoo!Japan」 サービス開始
- 1996年12月 OCNサービス開始
- 1999年2月 NTTドコモ「iモード」

# 社会的背景

- 2000年 「e-Japan構想」
- 2001年 「電子消費者契約法」
- 2002年 「特定電子メール送信適正化法」
- 2004年 「FaceBook」「mixi」サービス開始

技術的にも社会的にもインターネットにより急速に業種が広がる時代

=IT技術者がマイナーでなくなる時代

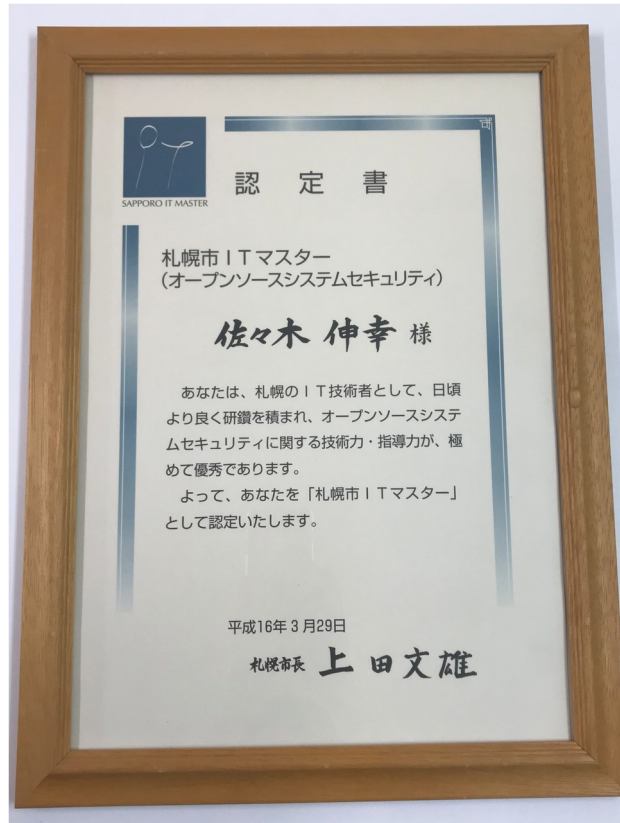
# ITコミュニティの形成

- ネットワーク系
  - インターネット接続の基本TCP/IP：1995年頃
  - DOSでのTCP/IP接続、BSD系OS
- OS系
  - インターネット普及直後：2000年頃
  - 1998年 Linuxの誕生によるもの大きい

# ITコミュニティの形成

- ミドルウェア系
  - DB、WEBサーバ：OS系の時期と重なる：2000年頃
- アプリケーション系
  - プラットフォーム技術の確立後：2004年頃

# 自治体の動き



- 北海道
  - 2002-2004年オープンソースを重点とする発言
  - 自治体主催のオープンソースセミナー開催
  - HOSSの成立時期と等しい
- 札幌市
  - 2003-2005年に重点的に推進
  - 札幌市ITマスタ：Java9からオープンソースまで

# ITコミュニティのメンバ

- 中心はITが関わる業種の社会人
- 一部、中心の人に関わる一般の人々
- 一部、中心の人と関わる行政的な人々
  - 行政として推進する立場  
＜ITコミュニティに意見を求めたい
  - ITコミュニティ  
＜行政にもアプローチして活動を広げたい




# ITコミュニティの連帯

- 多くの人に自分たちの活動を広げたい
- 多くの他の人から役に立つ話を聞きたい
- 悩みをだれかと共有したい
- だれかの悩みを解決できるかもしれない

コミュニティが集まってイベントをやりたい。

# GODo2004の開催



**GODo2004**  
GET INTO OPEN SOURCE HOKKAIDO 2004

2004.7.24 START 12:00  
END 18:15

札幌市産業振興センター  
産業振興棟  
主催：GODo2004実行委員会

基調講演  
オープンソース三つ巴  
日本Linux協会 野首 貴嗣

道内先端事例パネルディスカッション  
江別ブランド事典  
モデレータ  
株式会社びびねっと 宮崎 徹  
パネラー  
江別市経済商工課  
札幌学院大学教授 渡邊 慎哉  
江別IT技術者協会 理事長 阿部 宣由  
ニューメディア開発協会

セッション

導入セッション	Nature's Linuxの紹介 PukiWiki活用法 統合オフィスソフト OpenOffice.org の紹介
ソリューションセッション	インターネットサーバーの構築 ウイルスより怖いもの ログ探査
テクニカルセッション	オープンソース・ストリーミング ネットツールRDB活用法 Monoの紹介

19:00より懇親会を予定しておりますので、あわせてご参加いただくと幸いです

GODo2004実行委員会  
問合せ先、参加申し込み: <http://www.godo200x.org/>

- 2004年：札幌市ITマスター  
DoLucなどが中心となり実行委員会
  - 北海道で最初のオープンソースを  
テーマとした複数コミュニティの共  
同主催イベント
  - 行政関連、商工関連の支援
  - 実行委員会のそれぞれの所属の支援
- 180人くらい来場

# OSC北海道への展開

- 実行委員会単独でのイベント開催の労力
- ITマスター支援としての経費支援問題
- OSC実行委員会の全国展開の計画  
OSPNの設立と全国各地との連携
- 2005年7月 OSC2005-do 開催
  - GODo2005は開催されず。

# ITコミュニティイベントの継続

- OSC2005開催により今後OSCを継続する意図
- コミュニティのヒトとネタにできるモノはある
- 金がない
  - セキュリティワークショップ
    - 技術者の技術力向上を目的としたハンズオン学習講座等をさっぽろ産業振興財団に提案・実施。
  - 得られた費用をOSC開催費用に当てる。
  - このモデルで2007年まで3年間継続

# 札幌以外での動き

- 旭川
  - 旭川SOHO協議会等がOSS関連イベントを開催
- 釧路
  - 釧路OSSがイベントを開催

OSCに関わった各地の団体が地域での活動を活性化してきた

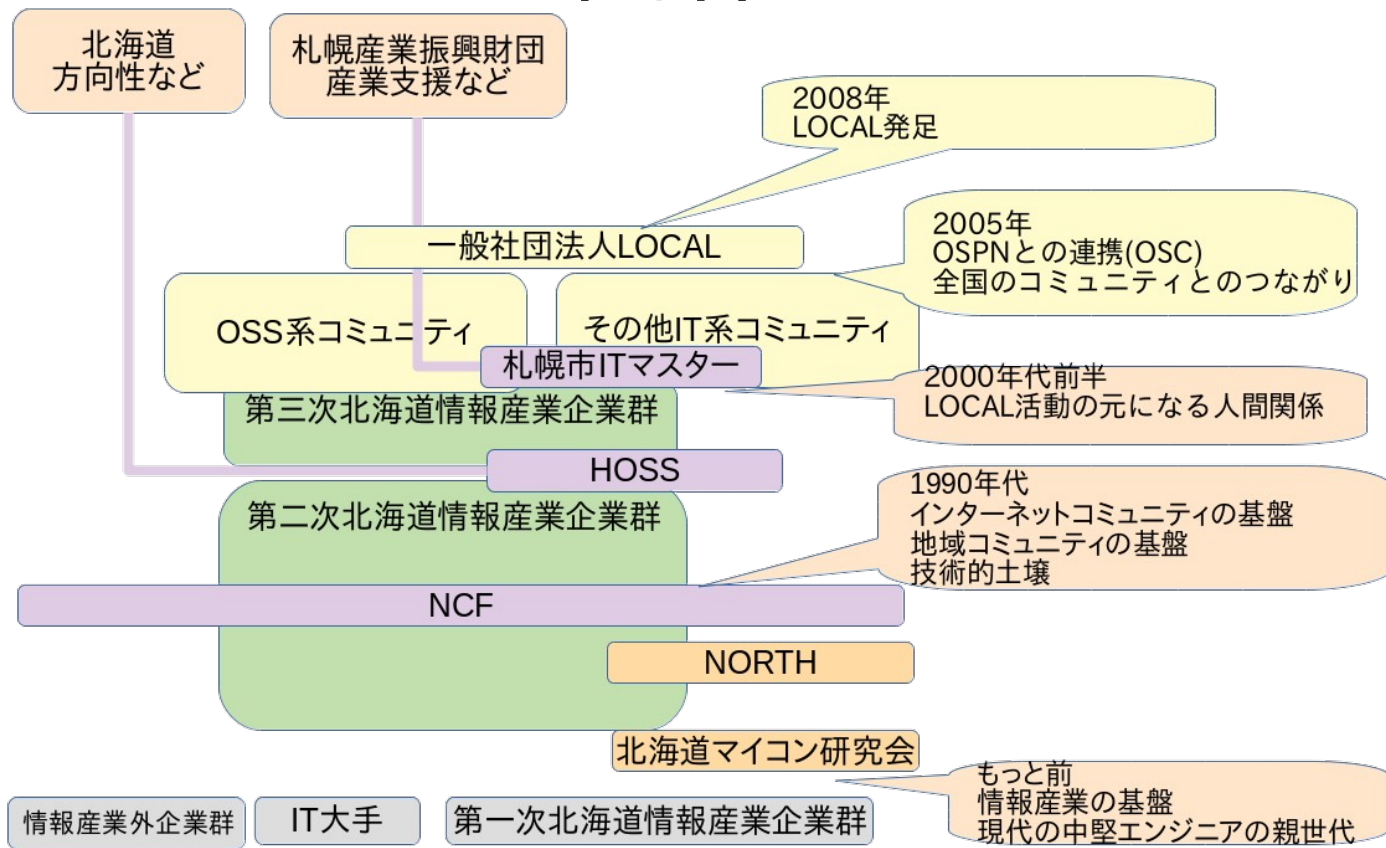
# ITコミュニティイベント開催を通して

- わかったこと
  - ITコミュニティの情報交換の場は作れた
  - 既にあるコミュニティは一部停滞している
  - 中心となる人物依存が大きい
- どうする？
  - IT技術者交流を通して活動を活性化し新しい人が加われる環境が作れないか
  - 人物依存をなくし「仕組み」としてコミュニティを下支えできないか

# 法人化しよう

- 一般社団法人LOCALの発足  
Leading Organization of Community Activity for LOCAL
  - 地域コミュニティ活動を支援するコミュニティ
  - 役割を割り振ることで個人への依存を減らしたい
  - いろいろなコミュニティとの交流・支援を通してIT技術者の文化をLOCALエリアに根付かせたい
  - 2008年1月：設立趣意書
  - 2008~~8~~<sup>9</sup>年~~5~~<sup>4</sup>月：法人設立 (発表後訂正)

# まわりとの関係をまとめると





# LOCAL設立後

- 理事の世代交代
- あとの話はまかせます